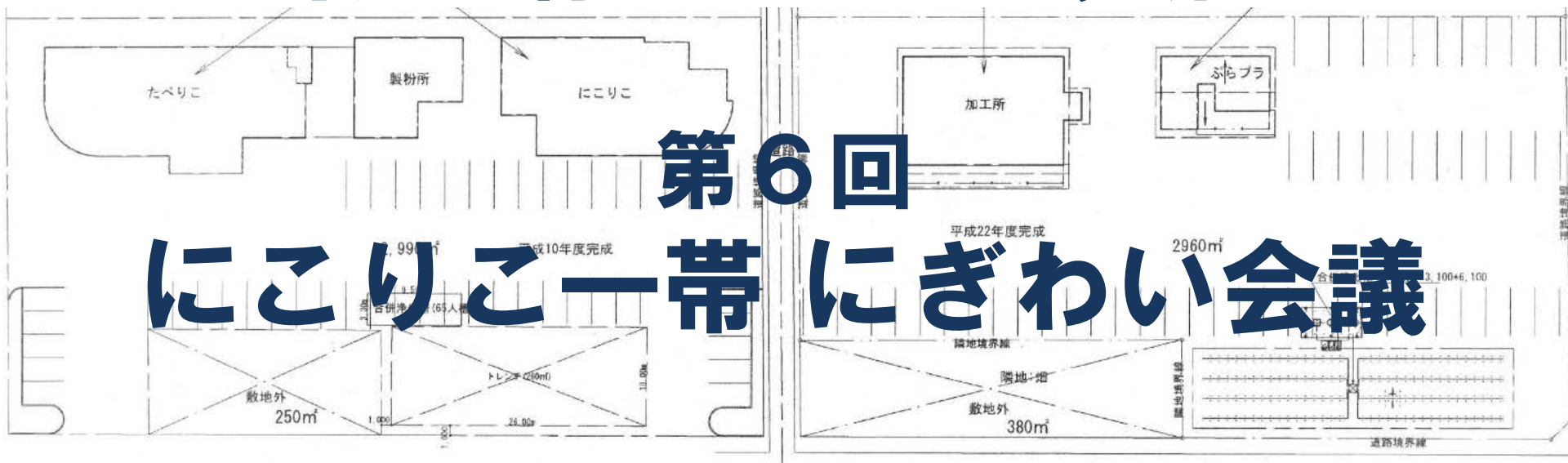


“町民が行きたくなる場所へ”



平成29年6月29日

この会議の目的

にこりこ一帯がにぎわうための、

- **リニューアル方針（コンセプト）**
- **方針を実現する具体的な事業**
- **事業を実現する運営主体**

を検討し、町長に報告すること

検討する上での条件

- 今ある施設と場所で考える
- 「あるもの」を基本に考える
- 道の駅を「手法として」考える
- できるだけお金をかけずに考える
(予算は当面1億を上限)

目指す姿

「**農家の所得向上**」を目的として作られた直売所・レストラン・加工所・交流施設のさらなる活用や、
周辺の農地・果樹園等を含めた土地利用等、
「**農の魅力の更なる発信**」に加えて、

住民の皆さんに愛され「**行きたくなる場所**」になることを目指します。

検討経過

- 第1回 自己紹介 概況説明
- 第2回 視察・施設責任者と意見交換
- 第3回 リニューアルコンセプト検討
「町民が行きたくなる場所」
- 視 察 木曾谷の道の駅 ヒアリング
- 第4回 にこりこについて
- 第5回 たべりこ、加工所について

今後のスケジュール

- **第6回 運営主体について (本日)**
検討経過中間報告 (広報みのわの実)
 - **第7回**
 - **第8回**
 - **第9回**
 - **第10回 検討結果 まとめ**
 - **検討結果報告 (町長へ)**
- ぷらぷら、周辺果樹団地について
• にぎわいを実現するために
• 道の駅について etc

前回の振り返り

- ① 運営主体により、にぎわいのための手段は変わる
- ② 公社が担う場合の課題
 - 責任者がいない（経営に失敗すると損する人）
 - 公益を商売を通じて実現するわかりにくさ
「農家の所得向上」「意欲の向上」の成果は？
費用対効果が分かりづらい。赤字体質になる
- ③ 今あるもので、十分ににぎわいの可能性はある

町長と意見交換したいこと

そもそも・・・

にこりこ一帯を、今後町で継続する理由は？

①運営主体についての考え方

②施設についての考え方